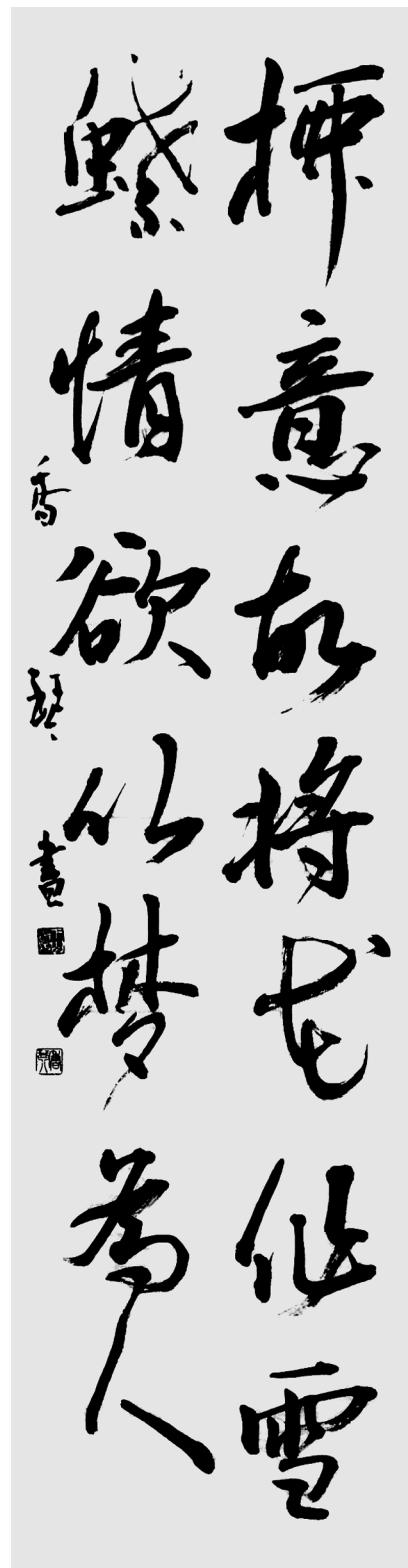


## 一般部毛筆最優秀作品

(5月30日締切分)

(吉田成美先生評)



### 条幅規定

成家 下山 香琴

手首が柔らかく、ゆったりと余裕さえ感じられる作品。やゝ文字の大小、墨量の変化が乏しいのは残念。書道人生百年とし、一作一作に気概を込めた作品を期待する。

### 条幅随意

師範 松本 恵華

半折縦に横書きという現代的ではあるが、難しい仕事にチャレンジしたその心意気を買う。流れの乏しい作品になりがちではあるが後半は大小、疎密が効いて良い。前半三行目は今一步。

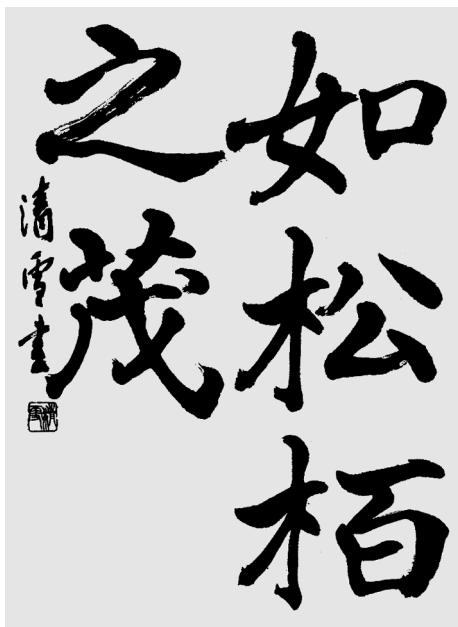
### 条幅随意 (臨書)

成家 立谷 青霞

太宗皇帝の持つ、重厚で朴訥とした暖か味のある線質をよく表現出来た力作である。もう少し落筆の変化が加われば、さらに立体感や躍動感のある作品になつたであろう。

# 一般部毛筆最優秀作品

(5月30日締切分)



半紙規定

準五段 原田 清雪

懐広く、明るい楷書。参考本に捕われることなく、鄭道昭の用筆を自己のものとし、うまく表現された力作である。この心意気に賛同する。



半紙隨意

成家 下田 華恵

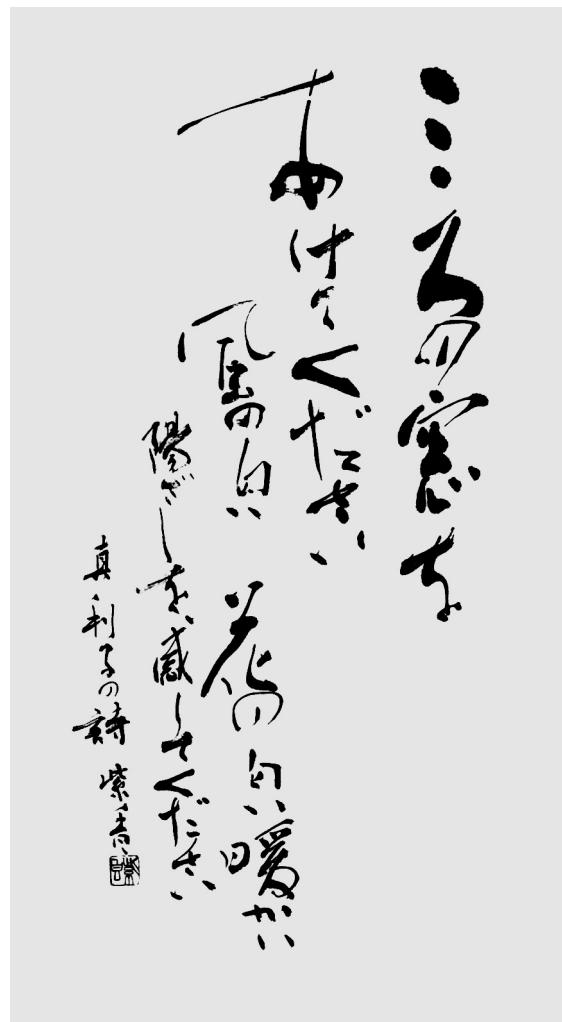
紙面に対して大きすぎる所は必至ではあるが、躍動感と、若さ溢れる恐れを知らぬ生き生きとした線に魅力を感じる。更なる下田ワールドに期待。



半紙隨意(臨書)

師範 林 碧水

や、形にとらわれすぎた感もあるが、筆致流麗さがよく表現されている。これに氣宇雄大さが加われば申し分ない。さらに精進を。



半折½縦

師範正 龍 紫香

余白の白を意識し、表現した作品であるが、や、作品としてのインパクトに欠ける。いろいろな作品を観、真似、蓄積することで自己表現の抽斗が増えてくる。つねにチャレンジ精神を忘れずに。期待している。

## 学生部毛筆最優秀作品

(5月30日締切分)

(坂元紫香先生評)



学生部条幅

## 小六 五段 白石佳奈子

なかがわゆめり  
小一 3級

原口 美空 小四  
五段 むずかしい課題  
でした。お手  
本をよく観察し  
うでを大きく動  
かしてのびやか  
に書いています。  
今後の美空さん  
に期待大です！

城戸 潶子	小二 7級	かみいっぽいに りんこさんのげ んきがあふれた さくひんです。
工藤 寧々	小三 準1級	形がよくどとの ついて、しつ かりと練習がで きています。
矢野 杏花	小四 初段	伸びのある明る い線で、形よく 名前までどうど うと書いていま す。この“線”を 大切に、これか らもがんばって ください。
古賀 夏鈴	小五 準二段	あたたか味ある 線でお手本を良 く見て、丁ねいに 書けた作品です。 今後は画と画の 交わり方に気を つけるとさらに 良くなります。

大場 菜央 松井 美月

小六 準四段 中一 準特待生

腕を大きく動かし、すつきりと伸びやかな筆運びで線も形も見事な作品です。さらに上の段位を目指して頑張つてください。

漢字と平仮名のバランスが良く明るくすつきりとした線で、名前まで丁寧に書けています。頂上まであと一歩です。期待大!

中二・三準特待生  
お手本をよく観察し、名前まで完成度の高い作品が書けましたね。  
勉強との両立、立派です！”特待生”を目指す頑張つて下さい。

# 硬筆部最優秀作品

(5月30日締切分)

(坂元紫香先生評)

<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>大村 真優</td></tr> </table> <p>ギニアという国がある。その海辺の首都から内陸へ約千キロメートル離れた所に、ボッソウという名の小さな村がある。その近隣の森に、野生チンパンジーがすんでいる。</p>	段級	氏名	大村 真優	<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>五反咲羽</td></tr> </table> <p>鳴く蝉よりも鳴かぬ蟻が身をこがす。心の深いが声なき光に現れる。西洋の詩人は愛を「天国に棲む熱き虫と歌ふが、あの光は実は熱くない。冷たい光をつくった造化の妙に驚く。</p>	段級	氏名	五反咲羽	<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>前田 乃亜</td></tr> </table> <p>漢字を分類すると、形のうえで目印とするものを部首といい、へんやつくりなどの部分が使われます。</p>	段級	氏名	前田 乃亜	<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>まどごんどうあいと</td></tr> </table> <p>かぎのたばうらぐちんかんとだないじなげ</p>	段級	氏名	まどごんどうあいと
段級															
氏名															
大村 真優															
段級															
氏名															
五反咲羽															
段級															
氏名															
前田 乃亜															
段級															
氏名															
まどごんどうあいと															
<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>樋口 祥子</td></tr> </table> <p>春になると、たんぽほの黄色い花が咲きます。</p>	段級	氏名	樋口 祥子	<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>佐藤 千夏</td></tr> </table> <p>わたしたちは、日々喜んだり、悲しみしたりしています。過去をふり返ってやんだり、将来に対しても、少しのことでも希望をもつたり、反対に不安になつたりします。</p>	段級	氏名	佐藤 千夏	<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>青木 瑞菜</td></tr> </table> <p>ある日、ぼくたちはガリラヤ湖に行つて、あごの上辺りの深さの所まで進んで、づかつた。そのまま、ぼくたちは丸一時間ぐらい湖の中に立つて、いた。</p>	段級	氏名	青木 瑞菜	<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>大迫 美佑</td></tr> </table> <p>春になると、たんぽほの黄色い花が咲きます。</p>	段級	氏名	大迫 美佑
段級															
氏名															
樋口 祥子															
段級															
氏名															
佐藤 千夏															
段級															
氏名															
青木 瑞菜															
段級															
氏名															
大迫 美佑															
<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>前田 乃亜</td></tr> </table> <p>ギニアという国がある。その海辺の首都から内陸へ約千キロメートル離れた所に、ボッソウという名の小さな村がある。その近隣の森に、野生チンパンジーがすんでいる。</p>	段級	氏名	前田 乃亜	<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>土井 みづほ</td></tr> </table> <p>ある日、ぼくたちはガリラヤ湖に行つて、あごの上辺りの深さの所まで進んで、づかつた。そのまま、ぼくたちは丸一時間ぐらい湖の中に立つて、いた。</p>	段級	氏名	土井 みづほ	<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>土井 みづほ</td></tr> </table> <p>ある日、ぼくたちはガリラヤ湖に行つて、あごの上辺りの深さの所まで進んで、づかつた。そのまま、ぼくたちは丸一時間ぐらい湖の中に立つて、いた。</p>	段級	氏名	土井 みづほ	<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>難波 来未</td></tr> </table> <p>イルカは、夜中に、のうを半分ずつ交代で休ませて、ゆっくりとおよぎながらね、むつています。</p>	段級	氏名	難波 来未
段級															
氏名															
前田 乃亜															
段級															
氏名															
土井 みづほ															
段級															
氏名															
土井 みづほ															
段級															
氏名															
難波 来未															
<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>前田 乃亜</td></tr> </table> <p>ギニアという国がある。その海辺の首都から内陸へ約千キロメートル離れた所に、ボッソウという名の小さな村がある。その近隣の森に、野生チンパンジーがすんでいる。</p>	段級	氏名	前田 乃亜	<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>佐藤 千夏</td></tr> </table> <p>ある日、ぼくたちはガリラヤ湖に行つて、あごの上辺りの深さの所まで進んで、づかつた。そのまま、ぼくたちは丸一時間ぐらい湖の中に立つて、いた。</p>	段級	氏名	佐藤 千夏	<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>青木 瑞菜</td></tr> </table> <p>ある日、ぼくたちはガリラヤ湖に行つて、あごの上辺りの深さの所まで進んで、づかつた。そのまま、ぼくたちは丸一時間ぐらい湖の中に立つて、いた。</p>	段級	氏名	青木 瑞菜	<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>難波 来未</td></tr> </table> <p>イルカは、夜中に、のうを半分ずつ交代で休ませて、ゆっくりとおよぎながらね、むつっています。</p>	段級	氏名	難波 来未
段級															
氏名															
前田 乃亜															
段級															
氏名															
佐藤 千夏															
段級															
氏名															
青木 瑞菜															
段級															
氏名															
難波 来未															
<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>大村 真優</td></tr> </table> <p>ギニアという国がある。その海辺の首都から内陸へ約千キロメートル離れた所に、ボッソウという名の小さな村がある。その近隣の森に、野生チンパンジーがすんでいる。</p>	段級	氏名	大村 真優	<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>樋口 祥子</td></tr> </table> <p>春になると、たんぽほの黄色い花が咲きます。</p>	段級	氏名	樋口 祥子	<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>佐藤 千夏</td></tr> </table> <p>わたしたちは、日々喜んだり、悲しみしたりしています。過去をふり返ってやんだり、将来に対しても、少しのことでも希望をもつたり、反対に不安になつたりします。</p>	段級	氏名	佐藤 千夏	<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>青木 瑞菜</td></tr> </table> <p>春になると、たんぽほの黄色い花が咲きます。</p>	段級	氏名	青木 瑞菜
段級															
氏名															
大村 真優															
段級															
氏名															
樋口 祥子															
段級															
氏名															
佐藤 千夏															
段級															
氏名															
青木 瑞菜															
<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>樋口 祥子</td></tr> </table> <p>ギニアという国がある。その海辺の首都から内陸へ約千キロメートル離れた所に、ボッソウという名の小さな村がある。その近隣の森に、野生チンパンジーがすんでいる。</p>	段級	氏名	樋口 祥子	<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>古村 青霞</td></tr> </table> <p>わたしは、日々喜んだり、悲しみたりしています。過去をふり返ってやんだり、将来に対しても、少しのことでも希望をもつたり、反対に不安になつたりします。</p>	段級	氏名	古村 青霞	<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>篠原 遙海</td></tr> </table> <p>わたしは、日々喜んだり、悲しみたりしています。過去をふり返ってやんだり、将来に対しても、少しのことでも希望をもつたり、反対に不安になつたりします。</p>	段級	氏名	篠原 遙海	<table border="1"> <tr><td>段級</td></tr> <tr><td>氏名</td></tr> <tr><td>土井 みづほ</td></tr> </table> <p>わたしは、日々喜んだり、悲しみたりしています。過去をふり返ってやんだり、将来に対しても、少しのことでも希望をもつたり、反対に不安になつたりします。</p>	段級	氏名	土井 みづほ
段級															
氏名															
樋口 祥子															
段級															
氏名															
古村 青霞															
段級															
氏名															
篠原 遙海															
段級															
氏名															
土井 みづほ															

ごんどうあいと  
小一 準4級  
一一じじおてほんをよくみて、ていねいにかけましたね。かたとのつていて、りっぱなさくひです。

大迫 美佑  
小二 準8級  
むずかしい漢字のれんしゅうが、しつかりとできましたね。かたのつていて、とのつていて、りっぱなさくひです。

難波 来未  
小三 準1級  
明るくすつきりとしたのびやかな線で、名前までとてもじょうずにお手本の観察力がすばらしくです。

書記  
拝啓風葉季節、かねてはすかさう連休を利用して家族東京遊びに行く計画を立て、まことにやがて東京ディズニーランドに行く予定ですが、今、東京がては是非あなたにお会いいたい、ベンを執りました。三日は宿泊先のホテルに着き次第連絡致しまして、ようやくお預かります。それでは、この日を樂しみにいたします。

大村 真優  
中学 五段  
伸びやかな線で明るく書けましたね。今後はさらに上段位を目指し、お手本の細部まで觀察しましよう。期待しています。

樋口 祥子  
中学 五段  
一般 師範正  
伸びやかな線で常運ですね。楷書作品とは思えないほど気負い常運ですね。楷書作品とは思えますが師範止です。自然で、白眉な作

品です。

前田 乃亜  
小四 5級  
お手本をよく見て、一字一字丁寧に書けましたね。上位の有段者にも負けない力をもつています。今後さらに期待します。

佐藤 千夏  
小五 準3段  
漢字と平仮名のバランスがよく、とても明るい作品です。今後はお手本の跡が残ります。今後さらに期待します。

青木 瑞菜  
小五 準1級  
本文から名前まで、氣をぬかず、常に書けています。消しゴムの跡が残ります。今後さらに期待します。

土井 みづほ  
小五 準1級  
氣のこもった線で、漢字と平仮名のバランスも良く丁寧に書いています。消しゴムの跡が残ります。今後さらに期待します。

大迫 美佑  
小三 準1級  
明るくすつきりとしたのびやかな線で、名前までとてもじょうずにお手本の観察力がすばらしくです。